



▲片峯団長あいさつ



▲消防車の行進



▲整列した団員たち



▲分列行進

わがまちを災害から守る

## 平成25年消防出初式

1月12日、平成25年築上町消防出初式が行われ、消防団員、関係者らが「火災のない安全・安心のまちづくり」への決意を新たにしました。

午前10時から行われた式には、町消防団、来賓ら約350人が参加。町議会、自治会長などの関係者が見守る中、観閲や表彰が行われ、今年一年の無火災を誓いました。今年も消防活動に対する機運を高め、活動に取り組んでいきます。

消防団は消防組織法に基づく消防機関であり、郷土愛の精神によって支えられた一般住民による組織です。わがまちを災害から守るという使命感のもと、地域の防災リーダーとして重要な役割を担っています。地域に密着した消防機関としての地域防災力の強化は、安全・安心のまちづくりの実現に欠かせません。

団員は日頃はそれぞれの仕事に従事していますが、火災や水害など災害発生時には、昼夜を問わず、率先して住民の生命・財産を守るため出動します。災害現場に飛び込むということは、自分の命を危険にさらすということです。わが身の危険を顧みず、消化活動や救出活動に集中できるのは、日頃の厳しい訓練あつてこそ。その訓練は、規律から操法技術まで多岐にわたり、一年を通して厳しく行われています。

率先して郷土を守る使命を受けた団員たち。消防団の長い歴史の中で未だに変わらぬ脈々と受け継がれている「消防精神」と「火消し魂」を改めて感じさせられました。